

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公衆衛生看護学概論Ⅱ	NSP32_001	選択	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎 洋子	301	y.yamazaki	月曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	公衆衛生看護活動の特徴である地域住民の健康への働きかけを、事例等を通じて、対象特性、援助方法、関係する法令を理解する。また、公衆衛生看護活動に使用する諸理論やそれを展開する方法の概要と特徴を課題学習、遠隔授業で理解する。				
学習上の助言	公衆衛生看護学概論Ⅰでの学びを踏まえ、さらに他の看護学の知識を整理しながら学習する必要がある。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生看護学第2版/編:上野昌江、和泉京子/中央法規出版/2016 国民衛生の動向2019/2020/編 ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習/編:牛尾裕子、佐藤紀子、田村須賀子 [3冊指定]				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 最新公衆衛生看護学 第3版 総論、各論1、各論2/編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会 国民衛生の動向2018/2019/厚生労働統計協会 				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公衆衛生看護活動と地域に生活する人々の健康問題との関連を説明できる		NS(1)～(5)		
②	公衆衛生看護活動の諸理論を用いて、実践事例を説明できる		NS(1)、(3)、(5)		
③	地域ケアシステムづくりの重要性を説明できる		NS(1)～(5)		
④	産業保健活動と行政看護活動との関連を述べられる		NS(1)～(5)		
⑤	学校保健活動と行政看護活動との関連を説明できる		NS(1)～(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	公衆衛生看護活動と社会の変化 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業	公衆衛生看護学概論Ⅰの講義内容を整理する。	4	
2	地域の健康問題と保健事業の展開 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業	地域で生活している人の情報収集を行う。課題学習に取り組む。	4	
3	公衆衛生看護活動の展開方法 地域住民の健康のアセスメントと健康課題 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業	ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習のP83～91までを読む	4	
4	公衆衛生看護活動の展開方法 地域住民への公衆衛生看護活動の展開過程 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業	ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習のワークシート1の作成	4	
5	公衆衛生看護活動の方法・技術1 ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業		4	
6	公衆衛生看護活動の方法・技術2 健康診査、健康相談フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業		4	
7	公衆衛生看護活動の方法・技術3 地域ケアシステムづくりとネットワークづくり 住民の健康を考える地域組織の育成 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の 授業	ワークブック 地域/公衆衛生看護活動事例演習のワークシート2の作成	4	
8	公衆衛生看護活動の方法・技術4 市町村保健師の活動の実際 地域・職域保健の連携 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	同時双方向 授業	最終レポートの提出(課題1～6を通して学んだ本事例から捉えた公衆衛生の理念と看護の目的に基づいて行う保健師の個別援助の特徴や展開方法)	4	
	レポート提出				

[専門教育科目/公衆衛生看護学]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	80	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	20	30
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	演習した項目について整理し、公衆衛生看護活動について考察できているかを問う。				講義の中で振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	出席日数と提出課題の日程厳守等を総合的に評価する。				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
授業補助:望月宗一郎、渡邊美樹、伊丹幸子							
<ul style="list-style-type: none"> 本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。 この科目は、担当教員が保健所・市町村における行政保健師活動および訪問看護活動、さらに大学病院における医療連携室での退院調整や療養生活相談等の経験を元にして、内容を構築している。 毎回講義に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として、理由のない欠席はしないよう心がけること。 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 Teamsを使った同時双方向授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWifi環境を奨励する。 							